

雲晴

「雲晴」創刊号

平成二十四年一月一日発行

貞林院 瑞正寺
〒125-0041 東京都葛飾区東金町五丁目四六一番五
FAX (03) 36271341
TEL (03) 56991591

謹んで新春の

お慶びを申し上げます

檀信徒の皆様におかれましては、どのような新しい年をお迎えになりましたでしょうか。

昨年は東日本大震災をはじめ台風による被害など、大変な一年でありましたが、今年には明るく希望の年となることを心より念じております。さて、本年より「寺報」を発行することとなりましたので、新年のご挨拶とともにお知らせいたします。

かねてより、寺からのご案内や活動報告などができるものを作りたいと考えておりましたところ、この度「さんがた会」という会より誘いを頂き、会員とすることができました。

この会では六か寺のご住職方が「寺報」を共同で編集・発行しており、すでに五十年以上の歴史がある会です。

共通記事の原稿は会員で分担し、併せて各寺院からのご案内もそれぞれ掲載できるものとあります。

「さんがた」とは、元々パーリー語（昔インドで使われた言語）で「和合」「仲間」という意味があり、この会の住職方が、それぞれの寺の檀信徒の皆様と仲良くしていきたいとの願いを込めて命名されております。

「寺報」の名称は、貞林院瑞正寺の山号である「雲晴山」より「雲晴（うんせい）」といたしました。

山号とは大抵の寺に付けられているもので、これは寺が修行の妨げにならないよう、人里離れた山の上に建てられていたことに由来するものです。

題字は先代住職、当山第二十五世林錦洞上人の揮毫によるものです。

ここ数年景気は低迷し、いやな事件が後を絶ちません。世の中全体が何かに行き詰ったような閉塞感が漂っております。そのような時代だからこそ「いつか雲は晴れる」という希望を持ち続けることが大切です。

この題字には、そのような思いを込め創刊とさせて頂きました。

掲載内容につきましては、これまでも智慧を絞り様々な特集が組まれております。ご自分の菩提寺だけでなく、仏教や浄土宗がより檀信徒の皆様、身近なものとなって頂ければ幸いです。

どうぞ、末永くご愛読下さい。

合掌

